

自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目のⅡやⅢ等)から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したのものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

○記入方法

〔取り組みの事実〕

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

〔取り組んでいきたい項目〕

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

〔取り組んでいきたい内容〕

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

〔特に力を入れている点・アピールしたい点〕(アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	ひだまり荘 数戸
(ユニット名)	1F/2F
所在地 (県・市町村名)	大分県大分市数戸北町2番2号 ひだまり荘
記入者名 (管理者)	衛藤 優子
記入日	平成 20年 5月 20日

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>認知症のホームだからと事業所の中に閉じこもることなく、近所のスーパーへ買い物に出かけたり、イベントと一緒に参加したり、地域の老人クラブ(4つ有)の方々と交流を図っていきたくです。</p>	<p>○</p> <p>買い物に出かけたり散歩に行くことはできているので、今計画中の地域の老人クラブの方々との交流を実現させたいです。</p>
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>定期的な会議で、運営理念を全職員で再確認し、実践に向けて取り組んでいます。</p>	
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる</p>	<p>なぜこの住宅地の中真ん中に事業所があるのかを、地域の長寿会等で時間を作っていただき、理解していただけるように説明を行っています。</p>	
2. 地域との支えあい			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>毎朝、外掃除を行うことで、近所の方、また、小中学生等と挨拶を交わし、徐々に交流を深めつつあります。また、民生委員の方と協力し、買い物からの帰り道に、休憩所として利用していただけるようにしています。</p>	
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>地域、班等の、お花見や旅行に参加しています。今年の運動会や夏祭りにも出席していきたくと思っています。</p>	<p>○</p> <p>運動会や夏祭りに出席していきたくと思っています。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p> <p>職員間で話し合い、民生委員の方とも協力し、ひだまり荘でバスハイクに行く際、地域の高齢者の方々も一緒に行けるように準備しています。今後、自治会長と話をつめていく予定です。</p>	○	認知症の理解を深め、広めるべく、バスハイク等を通して交流を持つ機会が増えるように努めていきたいです。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p> <p>今回、初めて評価を受けるため、まだ分からないことも多いのですが、評価が出たら、改善すべき点は改善していきたいと思っています。</p>	○	自分の能力を過信せず自己評価を行い、互いに注意しあいながらより良いケアにあたるように、取り組んでいきたいです。
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p> <p>外部評価を受けるのは今回が初めてのため、運営推進会議で評価への取り組み状況について報告や話し合いをしたことはありませんが、今後、評価が出たら是非議題として取り上げ、サービス向上に活かしていきたいと思っています。</p>	○	ブレーンストーミング方式を活用して、参加者が自由な発言ができる様にしています。これからも、より向上できるように努めていきたいです。
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p> <p>様々な職務で市役所を訪ねる機会があり、その中で情報交換を行っています。また、市役所の方もお時間を作ってくださり、ホームに足を運んでくださっています。</p>		
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p> <p>ホームの責任者・管理者は、必要最低限学んでいます、職員は学べていません。現在のところ、成年後見制度が必要な方はいらっしゃいませんが、今後のために、職員も知識を得、必要な方に支援できるように努めていきたいと思っています。</p>	○	責任者や管理者だけではなく、職員も学ぶ機会を設けていきたいです。
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている</p> <p>まだ、外部の講習等に参加したことはありませんが、ホーム内での勉強会にて学んでいます。また、職員一人ひとりが認知症というものをきちんと理解し、日頃の言葉遣いから注意し合い、虐待そのものが起こらないように勤めています。</p>	○	外部の講習会等に参加し、より多くの知識を得ていきたいと思っています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約の締結・解約の際は、項目ごとに説明を行い疑問点はないか尋ねています。また、その場では思いつかないこともあるかと思われるため、契約書をご自宅にて読み返していただき、不安な点等があればご連絡いただくようお願いし、理解と納得を図っています。</p>	
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>常日頃から、コミュニケーションを図り、その中から意見や不満等を聞き取っています。また、運営推進会議では、利用者の方も交えて意見の交換を行っています。それらを職員間で話し合い、より良い運営を目指しています。</p>	
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月、請求書と領収書を発行する際、皆様の1ヶ月の暮らしぶりをそれぞれのご家族様にご報告しています。また、個別で特記な事があったときは、お電話でご連絡したり、利用者様の写真つきの手紙を作成し、ご連絡・ご報告させていただいています。</p>	
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>意見箱を設置し、ご希望に添えるようにしています。外部者に対しては、運営推進会議への参加を呼びかけていますが、過去2回では参加していただけていません。また、家族会を開催していきたいと思っています。</p>	<p>○ 運営推進会議への参加の呼びかけと、定期的に家族会を開催し、苦情や意見を引き出す働きかけを行いたいと思っています。</p>
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>カンファレンスの後などに意見交流会を行っています。また、個別に意見等を聞いています。</p>	
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>運営者と管理者は、要望に対応できる様な職員を確保するためにシフト表作成時調整を図っています。</p>	
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>認知症の利用者の方にとって馴染みの職員というのは心強いもの、その為、異動・離職は最低限に抑えています。また、いつ異動(1F⇔2F)になっても、利用者の方が戸惑わないように、職員は、1日1回は両ユニットの利用者全員と顔を合わせ、言葉を交わすようにしています。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>新設の事業所ですので、当事業所では全職員が同時スタートでしたが、個人の能力に合わせて法人内の研修を行ったリ、外部の研修を受講するようにしています。</p>	<p>○</p> <p>育成するための計画は立てていないので、計画的に実施していけるようにしたいです。</p>
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>管理者は、各施設が開催している講演会に出席する中で、交流の機会を持っています。また、施設見学を兼ねて相互訪問も行っています。まだ職員が講演会等に行く機会が設けられていないので、今後取り組んでいきたいです。</p>	<p>○</p> <p>特に、職員の講演会・勉強会への参加や、他施設の訪問等を実施していきたいです。年1回行われている小規模ほーむのミニバレー大会に来年から出場したいと思っています。</p>
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>イベントの後の打ち上げや、忘新年会を開催しています。</p>	<p>○</p> <p>スポーツを通じて、コミュニケーションを図ったりストレスを発散していきたいです。年1回行われている小規模ほーむのミニバレー大会に来年から出場したいと思っています。</p>
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>個々の努力や実績を把握し、それぞれのポジションを確立し、自分に与えられた仕事が行えるようにしています。</p>	
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>利用開始前に必ず本人と面談し、現在の状況を聞き取り把握するように努めています。また、不安な面も多いと思われるので、利用前にご家族と一緒に見学していただき、雰囲気を感じ取っていただき納得の上入居していただくようにしています。</p>	
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>ご本人の希望とご家族の希望を、利用開始前の面談で必ず聞き取り把握するようにしています。事前に見学もしていただき、ご家族の方と一緒に支援していけるような信頼関係を築く努力をしています。</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	「その時」のご本人と面談し、グループホーム入所がその方にとって一番最良なのかどうかを、ご家族や担当ケアマネジャーとともに十分に話し合い、ご家族が他のサービスをご存知なければ、ご紹介する等の対応をしています。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	不安な面も多いと思われるので、利用前にご家族と一緒に見学していただき、雰囲気を感じ取っていただき、納得の上入居していただくようにしています。また、場合によっては、お試し期間を設けるようにしています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	ホームの中で役割分担(当番制)をしていただき、すべてを奪ってしまわず、できる事をいつまでもできる様に、また、自分は役にたっているんだ、という意識を持って日々の生活を送っていただくようにしています。そして、年長者として尊重し、家族のように共に笑い共に悲しみ、支えあう関係を築いています。		
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	社会的に、ご家族の方は、自分達も支援される側なのだ、と勘違いしやすい環境ができていと思うので、相談・入居の段階から一緒に利用者を支えていく、という意識を持っていただくようにお話をしています。何かあればすぐにご連絡して、一緒に解決するように取り組んでいます。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	ホームに入ったからといって、関係が希薄になってしまっは意味がありません。ホームが間に入ることで、ご家族の負担を軽減でき利用者の方とより良い関係が築いていただけように努めています。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご本人が今どこにどうしているのかを、ご家族の方等から大切な馴染みの方にご連絡していただいています。また、バスハイクでは、皆さんの思い出の場所めぐりをして、できるだけ皆さんの希望に添えるようにしています。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者の方の中には、どうしても対人関係が苦手な孤立しがちな方がいらっしゃいます。まずは、職員と信頼関係を築き、職員を介して徐々に他の利用者の方と打ち解けていただけようにしています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32 ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	サービス利用終了後も、担当のケアマネジャーさんや、施設の担当者の方等とその後の様子についてお話しています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33 ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	主にアセスメントシートに、その方の今までの生活層等を記入し、その情報を職員が共有・把握に努めるとともに、今後の暮らし方の希望を聞き取るようにしています。困難な場合は、ご家族からの聞き取りや、本人本位に検討するようにしています。		
34 ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	主にアセスメントシートに、その方の今までの生活層等を記入し、その情報を職員が共有・把握に努めています。		
35 ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	一人ひとりの生活のリズムを把握することに努め、心身状態については、専属看護師と共に毎朝のVSCと患部のチェックを行い、現状を把握するように努めています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36 ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ご本人がより良い生活が送れるように、本人・家族の希望を聞き取り、ケアしていく中で、その方にとって援助が必要と思われる部分を職員で話し合い、介護計画に反映させて作成しています。		
37 ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の期間に応じて、モニタリングと再アセスメントを行い、計画を見直しています。見直し以前の対応できない変化、例えば入院等で明らかに変化が生じた場合は、現状を即した新たな計画を作成しています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39	<p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40	<p>○地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>		
41	<p>○他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>		
42	<p>○地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p>	○	<p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働していきたいです。</p>
43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1) 一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	運営理念にもあるように、プライバシーを常に尊重しながら対応するように取り組んでいます。記録に関しては、ご本人が発した言葉はそのまま記録しますが、それが本人の誇りやプライバシーを損なうことがないように注意しています。	
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援している	自分の思いを表すことが苦手な方とは、個別にゆっくりお話をする時間を設け、希望などを聞き取り、活かせるように支援しています。	
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	国民の行事(父の日や母の日)は、その当日にイベントを行うようにしていますが、それ以外のバスハイクや、季節に応じたイベント(お餅つき等)は、その日の天候と利用者の健康状態と、希望に沿って個別性のある支援を行っています。	
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	ホームに定期的に来て下さる美容師の方もいらっしゃいますが、行きつけの美容院等に行きたいという希望があれば、行くことができます。	
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	好き嫌いはあると思いますが、できるだけ栄養が偏らないように、職員と一緒に席について、一緒に食事を食べています。また、当番制で配膳やお盆拭き、台拭き、テーブルの下の掃除を毎日一緒に行っています。	
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	タバコは、全館禁煙のため、吸うことができません。飲み物やおやつについては、1日2回おやつがありますので、そのときにできるだけ皆さんの好みに沿ったものをお出しするようにしています。個人的に毎日コーヒーが飲みたい等の要望については、各居室内で飲んでいただき、他の利用者の方が不快に思わないように配慮しています。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	便意・尿意の薄くなってきている方については、職員が定期的に声かけ・誘導を行い、排泄コントロールを行っています。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本的に、入浴日は決まっていますが、突然の入浴希望にも対応できる様にしています。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	一日中活動するという事は、高齢者の方にとって体力的にも厳しいものがあると思います。そこで、当ホームでは、昼食後、排泄・口腔ケアを済ませて、それぞれの居室や、好きな場所で休憩時間(お昼寝)を設けています。休めない方については、職員と一緒にその時間を過ごしています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	お一人お一人の特技や技能を活かして、日々の中で主役になれる時間を作るようにしています。役割を持つことで、自分の存在価値を見出し、張りりと喜びのある生活を送っていただけるように努めています。		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	管理上、必要最小限の金銭の所持をお願いしていますが、不必要にお金をばら撒くことがないように支援しています。また、そのお金を持って、買い物に出かけ、支払いをするお手伝いをしています。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	突然のお一人での外出希望にも対応しています。(例えば散歩等)		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	現在は、皆でバスハイクに行くことが多く、個別で遠出の外出はできていません。	○	個別、若しくは少人数で普段は行けない所でも、希望があれば外出できる様な企画を立てていきたいです。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話の希望は、ご家族からの制限がない限り自由にしていただいています。手紙やはがきは、ご家族からも届きますし、その返事を利用者が書いたり、字を書くことが難しい場合は絵をはがきに描いて送っています。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	利用者の方の生活のリズムもありますので、訪問時間は決めさせていただいていますが、訪問時間内はホールでも居室でも自由に使用していただいて、過ごしていただいています。レク等に一緒に参加していただくこともあります。		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を、全て正しく理解はできていません。しかし、身体拘束は一切行っていません。	○	全職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を学び、正しく理解していきたいです。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	各職員が「気付き」や所在確認を日頃から身につけるように、日中から玄関に鍵はかけていません。居室の室内側の扉には鍵は付いておらず、室外側の扉も、日中は喚起のために空けていることがほとんどです。		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	どうしても重度の方に手が行きがちですが、スタッフ同士で役割を整え、所在確認や安全確保に取り組んでいます。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	基本的に、はさみやナイフ類・針・火気類は個人でお持ちいただくないようにしています。しかし、完全に無くしてしまっているわけではなく、要望があれば職員と一緒に使用するようにしています。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	まだ新しい施設のため、事例のない事故が多く、いざという時に対応するのに不安があります。いつ何が起きても対応できる様に、全職員が知識を得ていかなければならないと思います。消防避難訓練は、消防法に基づいて行っています。	○	各事故の対応方法等を定期的に学んでいかなければならないと思います。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>	○	定期的な応急手当の訓練を行ってみたいです。
71	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>		
72	<p>○リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている</p>		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>○体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>		
74	<p>○服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>		
75	<p>○便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>		
76	<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食、食事の摂取量を記録しており、栄養等が確保できているか確認しています。1人1人の状況に応じて、食器類も工夫し、食事内容も個別に刻み食にするなどしています。		
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	爪切りや体温計の使い回しをしない、必ず消毒をする、食事やおやつの前や、外出先から帰社したら必ず消毒・うがい・手洗いをする、等の取り決めがあり、実行しています。また、職員が外部から持ち込まないように細心の注意を図ることと、入社したら必ず消毒するようにしています。そして、微酸性電解水の加湿器を設け、殺菌・除菌・消臭ができる様に		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理用具等は、微酸性電解水の消毒液にて、消毒しています。食材も過分な買いだめはせず、新鮮なものを使用しています。主な野菜は、無農薬の畑で採れた有機野菜を使用しています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	建物の周りには、高い壁等は一切ありません。また、内外の玄関ホールは、あたたかく親しみやすいように、植物を置いたり、日本庭園風にしてあります。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	全館、自然の光と音が取り入れられるように工夫しています。ホールや廊下には、皆で行ったバスバイク等の思い出の写真や飾り、自分達で作った作品を展示しており、随所に居心地よく過ごしていただけるような工夫をしています。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	思い思いに過ごせるように、居室だけではなく、所々に椅子やテーブルを設置しています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ベッドやダンスなど、今まで使い慣れたものを持ち込んでいただくようお願いしています。(お持ちでない場合はもちろん準備しています)また、写真や小道具、趣味の品などをお持ちいただき、自宅で過ごしていたときとできるだけ変わらない生活を送っていただけるように工夫しています。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のとどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	においや空気のとどみは、不快感が高いため、効率的な喚起に努めています。温度調節は、暑いからと冷やしすぎたり、寒いからと暖めすぎたりすることがないように、十分に注意しています。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内部は、バリアフリー・手すり等を活用した構造になっています。また、建物が2階建てのため、エレベーターを設置しています。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	認知力の違いがある為、失敗をしたときにその方が恥ずかしい思いをしないように、職員がすぐにカバーできるように努めています。		
87	○建物の外周リや空間の活用 建物の外周リやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	季節季節のお花を一緒に植えて、毎日の水やりを行ったり、ベランダでは、ちょっとしたものが干せるようにしています。また、庭には、木製の椅子とテーブルを置いて、気候の良い日はそこでお茶を飲んだり歌を歌ったりしています。		

V. サービスの成果に関する項目	
項目	最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる ○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある ○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています ○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働いている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

レクリエーションの一環として、作品作りに力を入れています。季節ごとの作品を利用者の方と一緒に作り上げています。また、大型バスを所有しているので、バスハイクはかなり充実しており、月2回はどこかへ出かけるようにしています。また、近隣住民の方々の理解も深く、家で採れた野菜やフルーツを持ってきてくださったり、ボランティアで来荘して下さり、一緒におやつ作りをしたりしています。また、グループホームは小規模のホームなので、大規模な施設と違い、職員と利用者が本当の家族のような関係が築けています。これからも、家族のようなぬくもりを感じていただきながら、穏やかに暮らしていただきたいと思います。